

平成29年度 こころの健康プロジェクト 助成団体報告

団体名	フットサル大会 IN埼玉実行委員会 (埼玉CAMPIONE)	埼玉県障害者 バレーボール協会 精神障害者部門	公益社団法人 やどかりの里	おおきな木
事業名	精神障がい者フットサル大会の開催並びに企画運営マニュアルの作成	精神障害者バレーボールの地域振興事業	小さな小さな音楽会2017	自死遺族 分かち合い・支えあいの会 おおきな木
目的	精神障がい者フットサルを普及させるため、県内対象の大会を開催するとともに、地域で誰でも交流会等が企画運営できるようにマニュアルの作成を行う。	ふれあいピック西部大会と西部地区交流大会が廃止の危機にあり、地域のニーズに合わせた新たな形へと事業展開を図る必要がある。より地域に身近で社会参加が促進される大会運営となることを期待したい。また、埼玉県代表選抜チームの競技力向上を目的とし、強化練習会を実施する。県内の精神保健福祉関係者への精神障害者スポーツ普及啓発のための媒体となることを期待したい。	法人内でコーラス活動をするメンバーの発表の機会とし、練習成果を発表する。地域とともに暮らしていくにあたって、障害のある人も地域の人も互いに顔の見える関係性を築いてともに音楽に親しむ中で、精神保健福祉への理解を深めることを目的とする。	自死遺族の方々の苦しみや悲しみ、自責の思いを少しでも一時でも和らげ元の生活に近づけられたり、仕事の復帰等社会へ一歩踏み出せるお手伝いができれば良いと考える。
実施状況	<p>・フットサル大会（Sリーグ戦）の開催</p> <p>第1日程 平成29年9月17日（土） 会場：春日部市立市民体育館 参加：8チーム</p> <p>第2日程 平成29年10月7日（土） 会場：ウィングハット春日部 参加：8チーム</p> <p>第3日程 平成29年11月4日（日） 会場：春日部市立市民体育館 参加：8チーム</p> <p>第4日程 平成29年12月17日（日） 会場：春日部市立市民体育館 参加：8チーム</p> <p>その他、障がいの有無にかかわらず「さるサポ」カップの開催等様々な活動を行った。</p>	<p>1 県西部の精神障害者バレーボール大会の検討</p> <p>県西部において精神障害者バレーボール大会の合同検討会を立ち上げ、4回の会議を実施。合同でふれあいピック西部交流大会を開催した。</p> <p>【検討委員会】 ①平成29年5月12日②平成29年10月13日③平成29年10月23日④平成29年11月17日</p> <p>【大会開催】 ふれあいピックバレーボール西部交流大会 平成29年12月1日 所沢市民体育館 参加12チーム、参加者153名（家族・応援含む）</p> <p>2 精神障害者バレーボール埼玉県代表チーム練習会の企画・運営</p> <p>【強化練習会】 平成29年4月～10月まで計19回実施 会場：埼玉県立精神医療センター 体育館</p> <p>県内の精神障害者バレーボールチームから埼玉県代表選手候補を幅広く募り、実施した。</p>	<p>平成29年12月16日（土）、さいたま市見沼区中川にあるサポートステーションやどかりにおいて「小さな小さな音楽会2017」を開催。やどかりの活動拠点でもある中川の地において、地域の人たちとの音楽を通じた交流を目的に、2015年から例年開催しているミニコンサート。ミュージシャン&マジシャンとして活躍されている大友剛さんをゲストに迎え、自治会、子ども会、子育てサロンの方たち、やどかりのメンバーも含め、約60人が参加した。マジックショー、絵本読み聞かせ、即興ピアノ演奏、全員での合唱などを行い、その後は自家製焼きたてピザを囲んだ茶話会を実施。参加者の笑顔に包まれたミニコンサートとなった。</p>	<p>・分かち合い 支えあいの会の開催 実施日：毎月第3木曜日 午後2時～午後4時 (計12回)</p> <p>・特別編 日程：平成29年10月1日(日) 午後1時30分～午後3時30分 会場：中央市民会館会議室及びレンタルフロアKugisei</p> <p>親を自死で亡くされた方限定で分かち合いと茶話会を行った。</p>
事業の成果	<p>・大会運営に際して、学生ボランティアや地域の関係者のご協力もあり、大きな怪我もなく2017シーズンを終えることができた。2018シーズンも実施継続を予定している。</p> <p>・全4日程に変更し、通年で大会に参加できるような仕組みが定着してきた。競技レベルも高まってきたため、審判もライセンス取得者に頼み、対応し、怪我なく大会を終えることができた。</p> <p>・埼玉県のほか、春日部市や関係団体などに後援をもらい、より多くの関係者からの支援を得ることができた。</p> <p>・Sリーグのような大会を各地域で自主的に開催できるよう、誰もが大会を企画運営できるように、交流会スタートキットを作成した。</p>	<p>1 これまで県西地域で行われてきた2つの大会には、相互交流がなく情報の共有もなされていなかった。しかし、本事業を通して県西地域の新たなネットワークが形成され、退会の運営方法について検討した結果、精神障害者バレーボール大会の活性化を図ることができ、また、地元自治体との話し合いも重ねることで顔の見える関係ができた。参加する施設や団体だけでなく、まだ大会に参加したことのない地域の関係機関に対する障害者スポーツの普及・啓発に今後期待したい。</p> <p>2 平成29年度精神障害者バレーボール埼玉県代表チームは、関東ブロック予選会を勝ち抜き、第17回全国障害者スポーツ大会愛顔（えがお）つなぐえひめ大会に出場。全国大会2連覇を目標に強化練習を重ね、結果は1回戦負けであったが、交流戦は2試合ともストレート勝ちとなった。強化練習会をはじめ、本事業により県内外の多くの関係者の支援をいただき、障害者スポーツを通じて、精神障害者に対する理解や啓発の一助につながったと考える。</p>	<p>今回で3回目となるミニコンサートだが、こうした機会を通じて自治会の方や子ども会の方たちとのつながりが深まっている。子ども連れで参加された方からは、「必要とはわかっていても、子どもにゆっくり読み聞かせがをしたりする余裕がない。でもここなら歩いて来られる。こんな機会をつくってもらえてありがたい」という言葉も聞かれた。地域のニーズを実感した場でもあった。</p> <p>また、やどかりの里メンバーが参加者といっしょに歌ったり、子どもたちにピザを配っている何気ない様子からは、地域交流の大切さを感じた。障害の有無にかかわらず、「音楽を楽しむ」ことで年々その交流も深まってきているといえる。</p> <p>今後もミニコンサートやイベントを通じ、地域住民と交流を深め、顔の見える関係性を築いていきたい。そして、精神保健福祉の理解を深められるよう活動を続けていきたいと考えている。</p>	<p>昨年度と比較し、毎月の定例会は参加人数が減ったが、参加して下さった方々からは「こんな事を話しても良いのか」と思うことも話すことができた」等の感想をいただいた。</p> <p>特別編の分かち合いでは「他の会やお子さんを亡くされた方の前ではなかなか話せない話があった」等の感想があった。</p> <p>SNS等で家に居ながらにして遺族同士が繋がってきているようだが、実際に顔を合わせて対話することは大事なことだと思う。外に出ることはたいへんかと思うが、実際に会って対話してみると、思った以上に満足感は感じられると思うので、私達のような会を利用して欲しいと願っている。</p>